

しゅん か しゅう とう  
**春 夏 秋 冬**

体育 ①

“大相扑”

“正值食用佳季的食材与烹饪”，到前一期就结束了。从这一期起，我们将在“春夏秋冬”栏目中进行“体育”系列连载。此期，就给大家介绍一下最近被电视及报章连日跟踪报道的横纲・朝青龙所从事的“大相扑”运动。

相扑，由于它带着浓郁的日本古文化色彩，因而一直受到人们的青睐。现在由日本相扑协会主办的“大相扑”，虽然作为一项职业体育运动而呈现出兴盛景象，但是相扑本身的存在价值却有着一段随时代变迁而上下浮动的历史。相扑独特的礼法・成规本身包含着各种各样的意义，让人们去想象古代日本。可以说相扑的魅力之一就在于它不单单是决出强弱胜负，它还有着一种重礼尚法的精神。

相扑的历史

相扑的起源，可以追溯到神话时代。而当今作为体育运动的相扑，则始于江户时代（1603年～）。从那个时候起，开始出现将俵（用稻草编的一种用具）填好让其成为土俵（相扑台），同时在四个角落上立四根柱子，并且搭箭楼。而决定胜负的四十八招也在此时规定成文。到了江户时代后期，成立了今天日本相扑协会的前身——相扑会所，同时大力士们所属的相扑屋也相继诞生。此后，1909年建成了“两国国技馆”，1952年，为了便于观众观看相扑比赛，立在土俵四个角落的柱子被

スポーツ ①

「大相撲」



「春夏秋冬」欄は、前号までの「旬の食材と料理」シリーズに続けて、今号から「スポーツ」シリーズの連載を開始します。今号では、最近、連日のように横綱・朝青龍を巡る動向がテレビや新聞で報道されている「大相撲」を取り上げます。

相撲は、昔ながらの日本文化を色濃く残している点でも人々に親しまれています。現在は日本相撲協会によって行われている「大相撲」というプロスポーツとして繁栄していますが、その存在意義を時代ごとに変化させてきた歴史があります。相撲ならではの作法・しきたりはさまざまな意味を持ち、古の日本を想像させます。単に強い弱いを決めるだけでなく、そこには格式を重んじる心があるところが相撲の大きな魅力のひとつでしょう。

相撲の歴史

相撲の起源は、神話の時代にまでさかのぼりますが、現在のようなスポーツとしての相撲は、江戸時代（1603年～）から始まりました。俵を埋めて土俵を作るとともに、四隅に柱を立て、櫓を組むようになったのもこの頃からで、決まり手も四十八手が成文化されました。江戸時代後期になると、現在の日本相撲協会の前身にあたる相撲会所が設立され力士が所属する相撲部屋も次々と誕生しました。その後、1909

撤走，取而代之的是垂吊的屋檐。其后藏前国技馆（1954年）和两国新国技馆（1985年）相继建成，直至今日。如此这般，相扑是紧紧跟随日本文化进步的脚步而成长・发展起来的，一直到今天，它都深深地插根于日本人的文化当中。

### 相扑的规则和礼法

相扑比赛是在一种叫做“土俵”的圆形角力场上进行的。大力士们除了受伤这一特殊情况以外，原则上规定只能围着兜裆布上场，并且头发要挽成髻。每一局比赛被称为“取组”，从被“呼出”（指负责呼喊大力士的名字，整理维护土俵，辅助比赛顺利进行的人）喊名、登上土俵一直到正式与对手展开比赛为止，这中间需要完成四股（相扑的基本动作之一。即登上土俵的大力士高抬单腿，然后用力杵地）、踞蹲（踞起脚尖然后深深下蹲，相互行礼）、尘净水（踞蹲、击掌之后，伸直双手，之后手掌朝上慢慢拉向左右两侧，再翻掌让手心朝下，示意对方自己手无寸铁）、撒净盐（在土俵上撒盐）、力水（角力前用舀子里的水漱口。而舀子里的水由前一局比赛中获胜的大力士，或者是等待下一局比赛的大力士拿来）等种种礼仪礼数。待这些礼仪礼数都完成后，参加比赛的两个大力士便将双手置于分界线的内侧，并相互盯视。待规定时间一到，相扑裁判就会在两个大力士之间平放手中的指挥扇，并发出“无暂停！”的号令。之后，两个大力士在双手触碰土俵的同时，比赛开始。比赛过程中，只要大力士脚底以外的任何一个部分着地，或者越出土俵外，就算输了。

另外，在相扑比赛中决定胜负的招式，被

年に「両国国技館」が開館し、1952年には、取組が観客に見やすいように、土俵のまわりにあった四本柱が撤去され、吊り屋根となりました。さらに、蔵前国技館開館（1954年）、両国新国技館開館（1985年）などを経て、現在に至っています。このように相撲は日本の文化に合わせて成長・発展し、現在も日本人の文化に根付いています。

### 相撲のルールとマナー

相撲は土俵と呼ばれる丸い円の中で行われます。力士は負傷者など例外を除いては、まわし以外は着用してはならないというルールがあり、頭は髻を結うというのがしきたりです。一つ一つの相撲の試合は取組と呼ばれ、呼出（力士名を呼び上げ、土俵の整備など、進行上の補助的な仕事をする人）の声で土俵上に上がってから実際に相手と組み合うまで、四股（相撲の基本運動のひとつ。土俵に上がった力士が、片足を高く上げ、力強く地を踏むこと）、蹲踞（つま先で立って深くしゃがみ、互いに相手に礼をする）、塵净水（蹲踞し、拍手した後、両手をまっすぐ伸ばし、掌を上に向けてゆっくり左右に開く。開いたら掌を下に向け、なにも武器を持っていないことを示す動作）、清め塩（土俵に塩をまく）、力水（仕切に入る前にひしゃくの水で口をすすぐ。ひしゃくは前の取組で勝った力士が、次の取組を待っている力士が渡す）などの数々の儀式的作法があります。それらの作法が終わると、両力士は両手を仕切線の内側について互いににらみ合います。制限時間になると行司が両力士の間に軍配を水平に出し、「待たなし」と声をかけます。そ

称为制胜招(日语叫「決まり手」)。现在制胜招一共有 95 招, 其中分为基本招、摔招、挂招、反手招、扭倒招、特殊招、无招(不是因为对方的制胜招, 而是因为自己用力过猛, 摔出土俵而决出的胜负) 以及禁招等等。

决出胜负之后, 大力士便回到原来的位置, 并摆出蹲踞姿势, 相互行礼。比赛如果产生了赏金的话, 相扑裁判就会将赏金放在指挥扇上面递给大力士。大力士在接受赏金时要竖起手掌, 并作出模仿左、中、右三切的动作。

正式比赛每年举行六次, 从周日一直到第三周的周一, 一共举行十五天。“幕内”和“十两”, 排在名单头排的一级力士每人比十五局, 排在名单二排以后的力士每人比七局, 根据赢的局数来各自划分、决出优胜者。

### 有关相扑的照单点菜

#### ◇土俵

江戸时代土俵的直径为 13 尺 (3.94m), 1931 年改成了现在的 15 尺 (4.55m)。之所以将土俵的面积扩大, 是为了“让观众能够稍稍长一点地体味大相扑遇比赛之一瞬决胜负的妙处。”

填制土俵的工作, 是由“呼出”来承担的。即使全员一齐动手也需要三天才能填制好一个土俵。这项工作不靠机械而是借助各种各样的道具, 凭着人们的双手和力量填制而成。

#### ◇正式比赛和地方巡回表演

大相扑的正式比赛每年共进行六次, 1・5・9 月在东京, 3 月在大阪, 7 月在名古屋, 11 月在九州。NHK 每天都会从比赛场地对这些赛程进行现场实况转播, 当然也可以直接前往赛场亲眼目睹比赛。

の後、両力士の両手が土俵につくと同時に勝負が始まります。取組で力士は足の裏以外の体の一部が地面に着くか、土俵の外に出ると負けになります。

なお、相撲では勝負が決まったときの技などを決まり手といいます。現在95の決まり手があり、基本技、投げ手、掛け手、反り手、捻り手、特殊技、非技(相手の技によってではなく、自分で力余って土俵外に出たり倒れたりした勝負結果)、禁手反則に分けられます。

勝負がいたら力士は元の場所にもどって蹲踞の姿勢をとり、お互いに礼をします。取組に懸賞金が出ている場合、行司が軍配に懸賞金を載せて勝った力士に差し出します。力士は受け取る際、掌を垂直にして左、中央、右と切る真似をします。

年6回の本場所での取組は、日曜日から翌々週の日曜日までの15日間で行われます。幕内と十両は1人15番、幕下以下は1人7番の取組を行い、勝利数でそれぞれの区分ごとの優勝者を決めます。

### 相撲ア・ラ・カルト

#### ◇土俵

江戸時代の土俵の直径は、13尺(3.94m)でしたが、1931年から現在の15尺(4.55m)となりました。土俵を広げた理由は「相撲独特の瞬間的勝負の醍醐味を少しでも長く見ってもらうため」とのことです。

土俵作りは呼出の仕事です。全員総掛かりで3日間かけて作り上げます。機械は一切使わずいろいろな道具を使い、すべて人間の力によって築き上げます。

另外，除了正式比赛以外，还要进行地方巡回表演。地方巡回表演的内容，是由加入了一系列人们在正式比赛里无法看到的“滑稽角力”（恶搞相扑制胜招，从而逗人们发笑的一种滑稽秀）、“相扑甚歌”（大力士们演唱江户时代流传下来的古歌）、“系纲”以及“挽髻”等实际表演构成的，这些内容使得平时对相扑缺乏了解的人，也能看得津津有味。

### ◇名次表与搭配

根据大力士的实力排列出来的名次表，分为幕内、十两、幕下、三段目、序二段及序之口等六类，属于各个分类的力士，其名字分别从第一名排写到最后一位。另外，位于幕内的大力士，其地位从上到下分别命名为横纲、大关、关胁、小结及前头。

### ◇来自外国的大力士

大相扑是日本历史最为悠久的历史传统体育项目，不过今天起着核心作用的，却是来自外国的大力士。现在，42名幕内中有13名是外国人（蒙古人8名，俄国人2名，保加利亚・格鲁吉亚・韩国人各一名），而十两以下也活跃着很多来自外国的大力士。

(H・I)



### ◇本場所と地方巡業

大相撲の本場所は、1・5・9月が東京、3月が大阪、7月が名古屋、11月が九州と、年6回行われています。これらの取組の様子はNHKで連日、開催会場から中継されています。もちろん会場に行っても生で見ることが可能です。

また、本場所以外にも地方巡業というものがあります。地方巡業は、本場所では見られない「しよつきり」（相撲の技をネタに笑わせる一種のパロディ・ショー）、「相撲甚句」（力士が歌う江戸古来の唄）、「綱締め」、「髷結い」等の実演などもついた一連のショーになっており、相撲についてよく知らない人でも楽しめるような内容になっています。

### ◇番付と取組

力士の実力などに基づいて決められる番付は、幕内、十両、幕下、三段目、序二段、序の口の6種類に区分されており、それぞれ上位から順番に力士名が書かれています。また、幕内については、上位から横綱、大関、関脇、小结、前頭という名称が付けられています。

### ◇外国人力士

日本でもっとも古い歴史を持つプロスポーツである大相撲ですが、今やその中心力士は外国人で占められています。現在では、幕内42人のうち13人が外国人（モンゴル8人、ロシア2人、ブルガリア・グルジア・韓国各1人）で、十両以下でも多くの外国人力士が活躍しています。

(H・I)